

数字でみる 抱樸館を支える会



「抱樸館を支える会」の会費は、抱樸館の運営に活かされています

「抱樸館を支える会」賛助会員は、いつでもお申し込みいただけます

賛助会員
(会費)は**毎年**
自動更新

賛助会員は一度お申し込みいただくと、翌年以降からは自動更新となります。

※既に会報がご自宅に届いている賛助会員の方は、二重のお申し込みにご注意ください

「抱樸館を支える会」賛助会員のお申し込み方法

グリーンコープの
共同購入組合員の方

1300 「抱樸館を支える会」年会費
 分割 一口**250円**×**12回**
 (年間3,000円)

何口でもお申し込みいただけます。
 毎月の商品代金と一緒に250円引き落としとなります。

共同購入申込書でお申し込みの場合

- 共同購入申込書の特別申込欄でお申し込みください



WEB/ スマホでお申し込みの場合

- GCweb(インターネット注文)の利用登録をされている方



- 「LINE注文」からもお申し込みいただけます。スマホの画面で、お申込番号「1300」または「1299」をご入力ください

一般の方、
グリーンコープの
店舗組合員の方

- 郵便振替でお申し込みください
- 一度に何口でもお申し込みいただけます(一口1,000円)

郵便振替 **01710-0-123003**
 (一般社団法人 抱樸館を支える会)

■ お問い合わせ ■
 「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011
 福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号 博多大博通ビルディング10階
 Tel 092-482-1964

抱樸館を支える会

賛助会員

大募集!

抱樸館便り

春
2026

抱樸館福岡
ホームページ



みなさんは抱樸館をご存知ですか?

刻一刻と変わる厳しい社会状況の中、職や住まいを失い経済的な困窮に陥ることで、人との繋がりや地域との関係までも断ち切れ、孤立する人が増え続けています。

抱樸館はそのような方々を支援し、共に生きる地域社会を創るために入居者の自立に向けて伴走しています。

ぜひ抱樸館を支える会の賛助会員になって、会員継続をお願いします。

なぜ、グリーンコープが生活困窮者支援事業に取り組むのか。みなさまから頂いた会費がどのように使われ、活かされているのかをお伝えします。

ホームレス支援から始まった「抱樸館」は、生活困窮者が自立に向かうためのステップの場です

抱樸館を支える会の目的

ホームレス者及び生活困窮者自立支援事業
 抱樸館(福岡、熊本、北九州)の運営を支援し支える

抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
 「抱樸館を支える会」会報誌発行
 抱樸館見学・出前講座、随時受付

生活困窮(ホームレス)事業に付帯する業務
 子どもたちへの支援など
 みんなの居場所、生活再生・自立相談支援機関へのフードサポート支援

共同購入申込書の「特別申込欄」にお書きください

年会費 分割 **1300**
 1口 月**250円**×**12回**

年会費 一括払い **1299**
 1口 **1,000円**

← 賛助会員の詳しい申し込み方法は裏面をご覧ください。

Spring. 2026

助け合い、支え合い、共に生きる

「抱樸館を支える会」への会費は、
抱樸館を運営していくための大きな支えとなっています。

ホームレス状態とは、単に家がない(ハウズレス)ということではありません。
そこに至る道のりの中で、人とのつながりを失い、「助けて」と言えなくなるほどの
深い孤独や生きづらさを抱えておられます。

既存の制度では支援が行き届かない方々でも安心して過ごせる施設はとても貴重です。
維持するためにもみなさんの支援が欠かせません。

ぜひ抱樸館を支える会の賛助会員になって、抱樸館を支える仲間になってください。



抱樸館 福岡の中庭
入居者の憩いの場となっています

抱樸という言葉に込めた思い

ほうはくとは聞きなれない言葉ですが、抱樸の「ほう」は抱く、「樸」は伐り出されたばかりの原木。表面がざらついても「そのまま抱きしめるから、今困っている方、抱樸館においでください」という意味です。

各、抱樸館の情報はこちら

抱樸館福岡 (福岡市東区)

2010年5月に開所。居室数は81室。そのうち12室は、福岡市から受託した一時生活支援事業のシェルターとして、緊急に住まいが必要な方が利用している。また、2021年9月より福岡市からの認定を受け、日常生活支援住居施設として40室が稼働中。一人では暮らすことが困難な方が利用している。

開所からこれまで**1,740人**の方が利用
(2026年3月現在)

抱樸館熊本 (熊本市中央区)

2013年6月に抱樸館熊本準備室を立ち上げ、2018年12月に名称を「抱樸館熊本」と改め運営。居室数は12室。

開所からこれまで
530人以上の方が利用
(2026年3月現在)



抱樸館熊本
ホームページ

抱樸館北九州 (北九州市八幡東区)

2013年9月に開所。NPO法人抱樸が運営している。居室数は30室。終の住処として、あるいは自立に向けた入居(自立支援住宅)として入居者の状況に応じて対応している。施設内に、レストランを併設。



開所からこれまで**116人**の方が利用
(2026年3月現在)

賛助会員、みなさまの会費は抱樸館の活動に活かされています

抱樸館の目指すもの

抱樸館は行政と連携し、入居者が共同生活を営みながら、「就労訓練」や「各種自立支援プログラム」に基づいて自立した生活が送れるように支援します。

人は住まいや職を失うことによるのみ、絶望的な貧困状況に陥るわけではありません。その根源にあるのは、人と人との関わりを失うこと、すなわち関係や絆の喪失にあります。私たちは、それを「ホームレス(関係的困窮)」と呼んできました。抱樸館は、人と人との絆を結び直す場所となるように継続的にサポートし、ホームとして支え続けています。

入居者の伴走をします

入居期間中は一人ひとりに相談員が寄り添い、一緒に動きます。手作りの食事や、共同生活を送る仲間たちとの触れ合いなど、温かい関係の中で自立に向かえるようにサポートをしています。

生活に困っている方の背景は、病気や自分では気がつかなかった知的障がいや発達障がいがあることもあり、仕事がかたくなりにいかず、人間関係もうまくいかなかったという方もいらっしゃいます。人それぞれ状況が違うので全て解決は難しいのですが、隣に誰かいて、一緒に考える伴走型の支援をしています。また、その人一人ひとりの状況に合わせて様々な機関につなげるコーディネーターも大切な役割の一つです。

「ただいま」「おかえり」「I'm home!

家に帰ったら「ただいま」と言いますか？
一人暮らしの人はきっと言わないでしょう。
家族がいる人は「ただいま」と言うのではないのでしょうか。それは「おかえり」と言ってくれる人がいるからです。

英語で「ただいま」はI'm home!と言います。「はく、家(ホーム)に帰ってきたよ。お母さん、お父さん」という感じでしょうか。この場合の家はhouse(ハウス)ではなくhome(ホーム)です。ハウスは物質的な意味合いが強く、ホームは関係性を指すことばです。

抱樸館はホームとなることを目指しています。入居している人が出かけるときは「行ってきます」「行ってらっしゃい」、帰ってきたら「ただいま」「おかえり」とことばを交わすことを大事にしています。



抱樸館職員と卒業生で行っている
散歩がてら誰でも立ち寄れるカフェ

カフェさんぽみち

毎月第2金曜日 抱樸館福岡食堂にて開催中

抱樸館では「カフェさんぽみち」を開催しています。入居者や卒業生にとっても好評です。来てくれる人は「楽しい」と言ってくれます。もちろん、楽しさも追求しているのですが、ソーシャルワークで言うと、個別支援(ケースワーク)にとどまらず、集団支援(グループワーク)、それから地域づくり・地域に開かれた抱樸館を作る(コミュニティーワーク)を目指しています。横のつながり、地域との接点を増やしたいと思っています。



子どもたちへの支援にも活かされています

グリーンコープの「みんなの居場所」

グリーンコープが運営している「みんなの居場所」は42カ所(2026年3月現在)。子どもたちを包みこむようにして地域に開かれ、一人で安心して行くことができる場所、子どもを中心に多様で多世代の人々が交流する地域の拠点となることを目指しています。

子どもの居場所や地域の取り組みへの支援

フードサポートによる支援がますますひろがっています。

地域の「子どもの居場所」や「子ども食堂」へ食材を提供しています。

※組合員が運営に関わっているところもあります。

- ・地域の子どもの居場所の運営支援と食料提供
- ・子ども食堂の運営支援と食料提供
- ・小中学校の朝食支援への食料提供

朝食支援の依頼を受けた福岡、大分、佐賀県内の小・中学校に食材を提供しています。



抱樸館の広報活動を行っています

抱樸館を支える会
会報誌発行



会報誌を2カ月に1度お届けします

抱樸館見学・出前講座を
随時受付しています

